

消費者として自立するためには、
時代に応じたさまざまな知識と
適切な行動がとれる能力を身につける必要があります。
その自立を手助けする働きかけが「消費者教育」です。

いま、私たち消費者に求められているものは何でしょうか？



教えてヤマドリさん! ① 消費者教育ってなに？

幼児期から高齢期までの生涯を通して、
それぞれの時期に応じて、消費生活について学ぶことだよ！

幼児期 小学生期 中学生期 高校生期 若者 成人一般 高齢者



教えてヤマドリさん! ② 中学生や高校生が学ぶ内容は？

たとえば、中学生は消費生活が環境に与える影響を考えたり、
商品の情報を集め、計画的な買い物のしかたを学ぶことだよ！
高校生になると、生涯を見通した自分の生活設計を立ててみたり、
消費者トラブル解決の法律や制度の利用方法を学ぶよ！



教えてヤマドリさん! ③ どうして消費者教育が必要なの？

自分自身が消費者トラブルにまきこまれないための
知識を身につけることはもちろんだけど、
それだけでなく、自分の行動を通してより安全で安心な社会を
つくるのが求められているよ！



教えてヤマドリさん! ④ 消費者教育って、どこで行われるの？

家庭や学校、地域など
さまざまな場で行われるよ！



職場

家庭



地域

学校



教えてヤマドリさん! ⑤ 消費者市民社会って、どんな社会なの？

自分のことだけでなく周りの人たちや、
将来生まれてくる人たちのことを考えて行動すること。
環境などに配慮した行動をとることで、持続可能な社会を目指すこと。
消費者一人ひとりが参加して、いっしょにつくる社会のことだよ！

